

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（問 33×問 8-母）

※母親が回答者の場合に限定

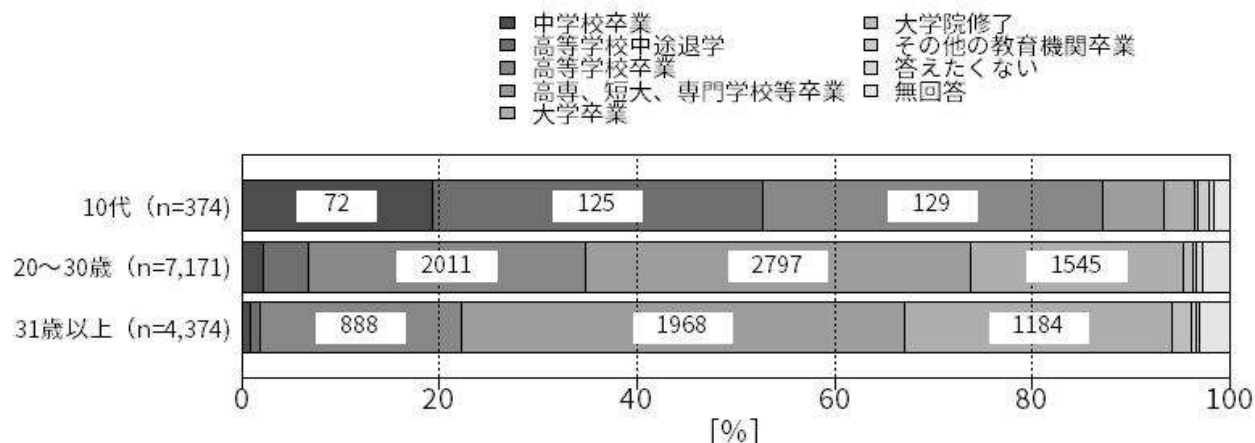


図 95.初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（母親）※母親が回答者の場合に限定

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢で初めて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢で初めて親となった平均以上群（30歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

10代で出産する人で、中学校卒業・高校中退の割合が高く、合計すると52.7%であった。

平均出産年齢

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（問 33×問 8-父）

※母親が回答者の場合に限定

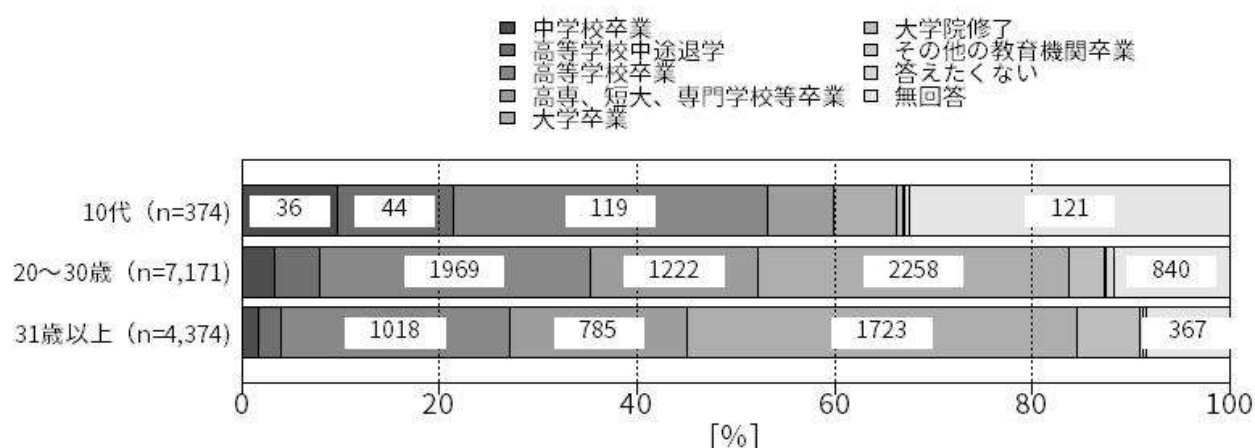


図 96.初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（父親）※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人で、子どもの父親の中学校卒業・高校中退の割合が高く、21.4%であった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（問 33×問 8）※母親が回答者の場合に限定

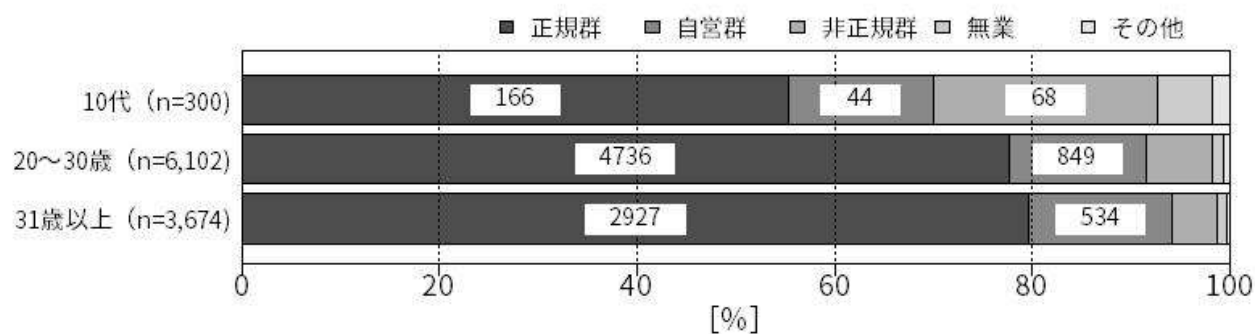


図 97.初めて親となった年齢別に見た、就労状況
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、「正規群」の割合が低く、「非正規群」、「無業」の割合が高く、それぞれ22.7%、5.7%であった。

初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること（問 33×問 37）

※母親が回答者の場合に限定

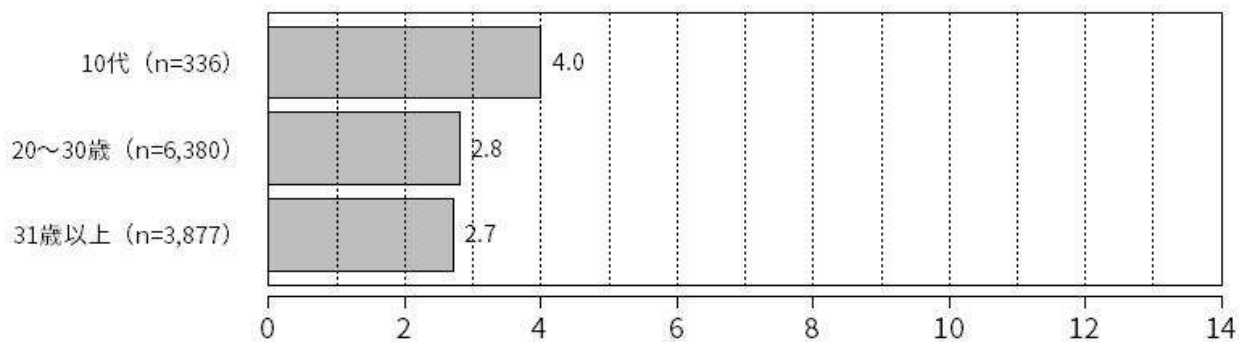


図 98.初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人で、該当数が多くなる傾向にあり、他に比べ約1.5倍であった。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける頻度
(問 33×問 38) ※母親が回答者の場合に限定

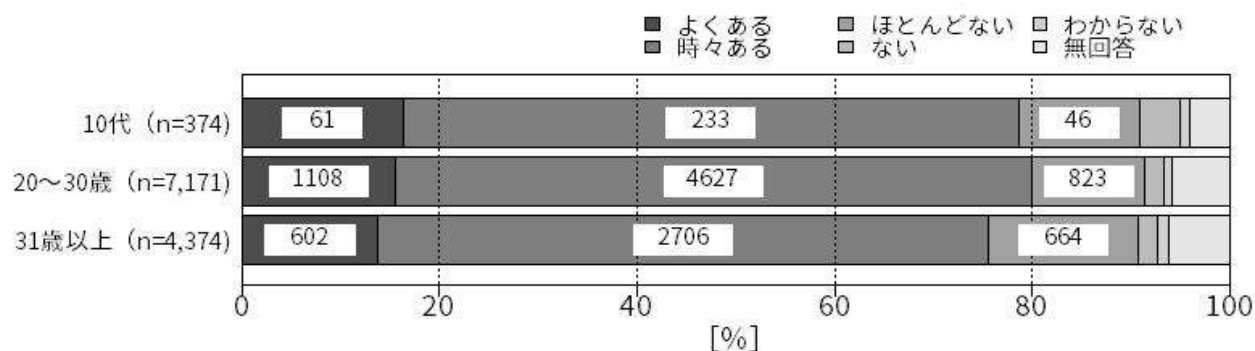


図 99.初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では20～30歳で出産した群、31歳以上で出産した群よりも、「よくある」と回答した割合がわずかに多く、16.3%であった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか
(問 33×問 31-1) ※母親が回答者の場合に限定

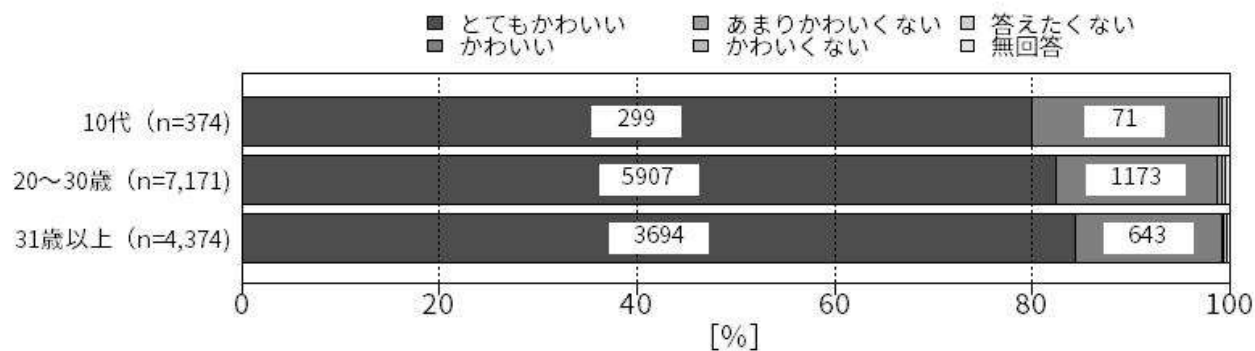


図 100.初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、20～30歳で出産した群、31歳以上で出産した群よりも、「とてもかわいい」と回答した割合が低く、79.9%であった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 33×問 31-2）

※母親が回答者の場合に限定

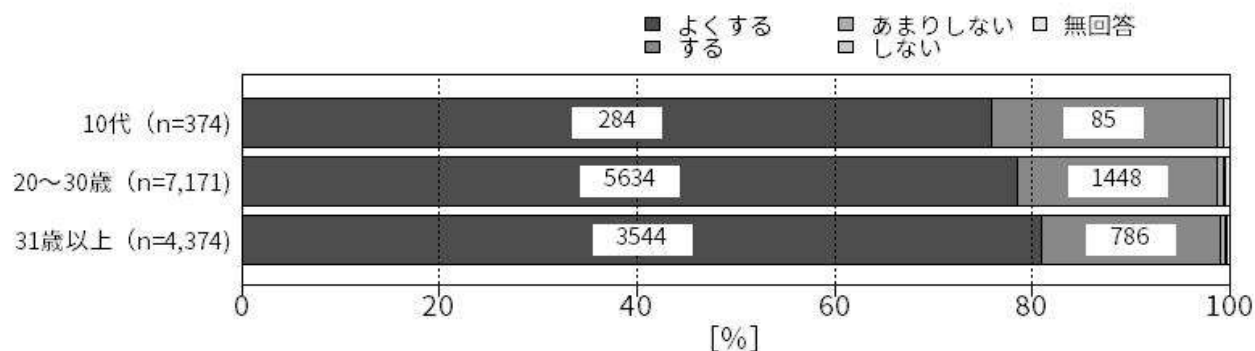


図 101.初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、20~30歳で出産した群、31歳以上で出産した群よりも、子どもと会話を「よくする」と回答した割合が低く、75.9%であった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）（問 33×問 31-3-平日）※母親が回答者の場合に限定

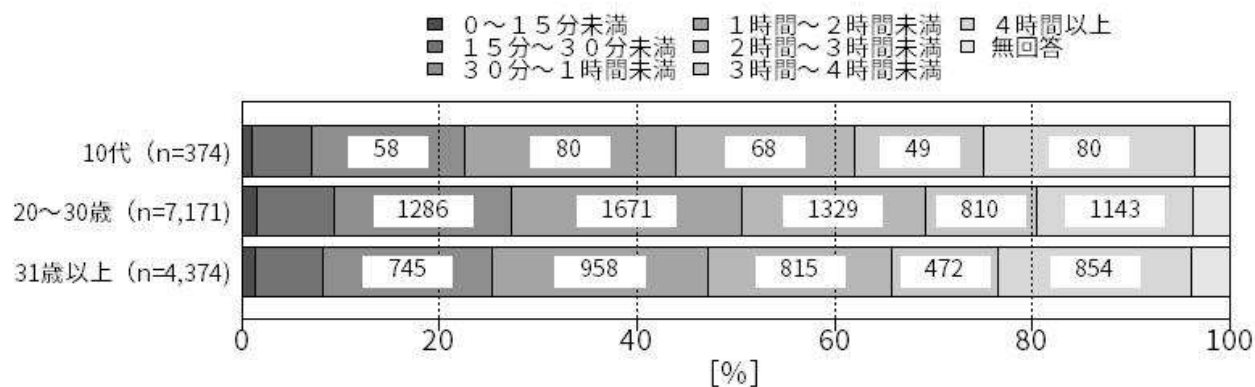


図 102.初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
※母親が回答者の場合に限定

子どもと一緒にいる時間（平日）に、出産年齢によって、大きな差は見られない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）
 （問 33×問 31-3-休日）※母親が回答者の場合に限定

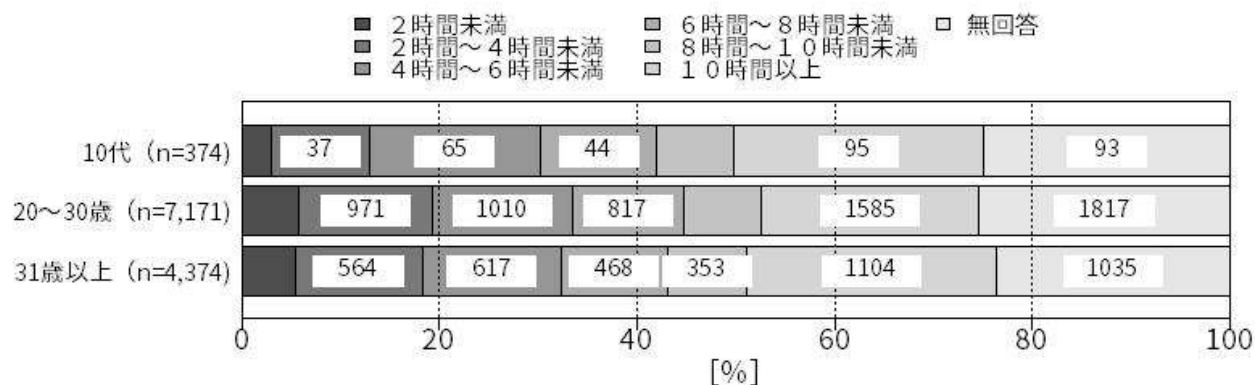


図 103.初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、「2時間未満」「2時間～4時間未満」と回答した割合が他の群に比べ低く、それぞれ2.9%、9.9%となっていた。

初めて親となった年齢別に見た、相談相手（問 33×問 35）※母親が回答者の場合に限定

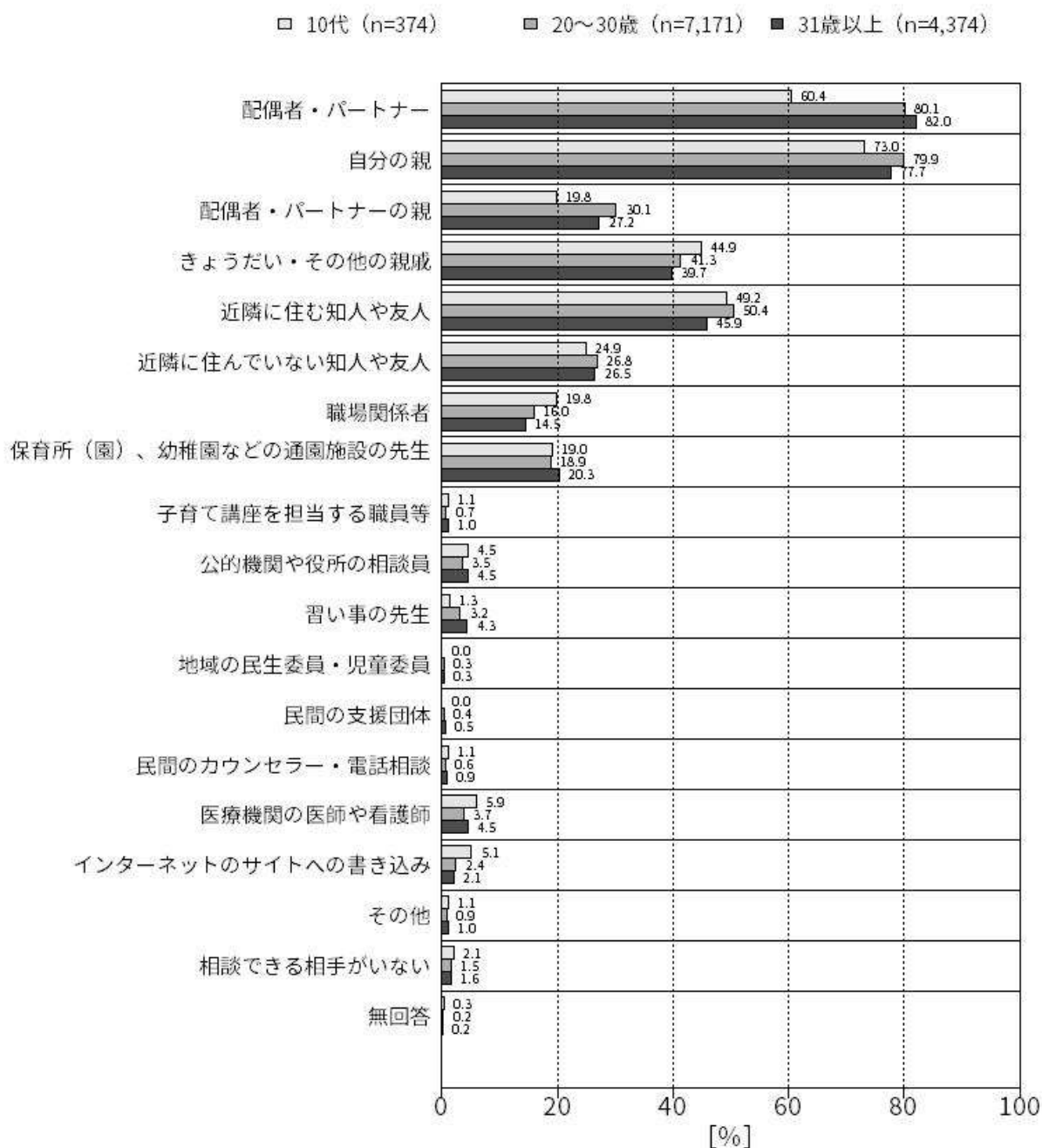


図 104.初めて親となった年齢別に見た、相談相手
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、他年齢と比べると、「インターネットのサイトへの書き込み」が 5.1%（20～30 歳群に対して 2.1 倍、31 歳以上群に対して 2.4 倍）、「民間のカウンセラー・電話相談」が 1.1%（20～30 歳群に対して 1.8 倍）、「子育て講座を担当する職員等」が 1.1（20～30 歳群に対して 1.6 倍）と、高い項目が見られた。また、10 代群では「配偶者・パートナー」の割合が低く 60.4%であった。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 33×問 36-1）
※母親が回答者の場合に限定

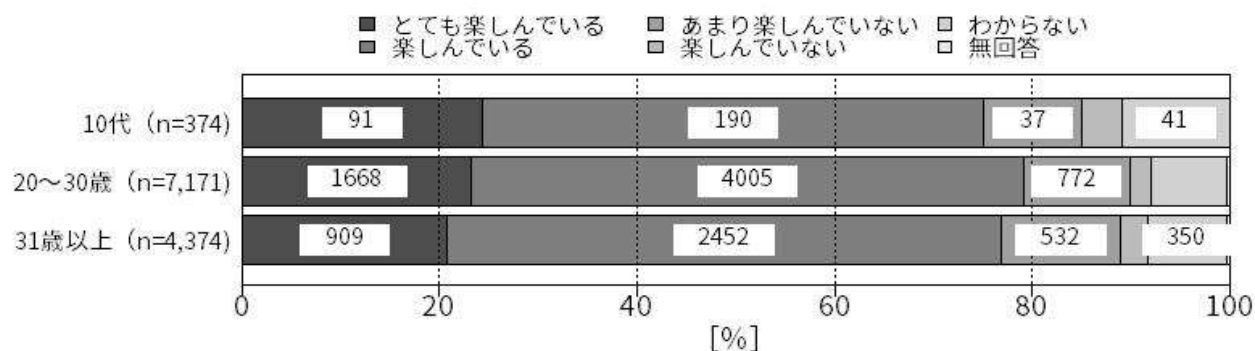


図 105.初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、20～30歳で出産した群、31歳以上で出産した群よりも、「とても楽しんでいる」と回答した割合がわずかに多く、24.3%であった。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 33×問 36-2）
※母親が回答者の場合に限定

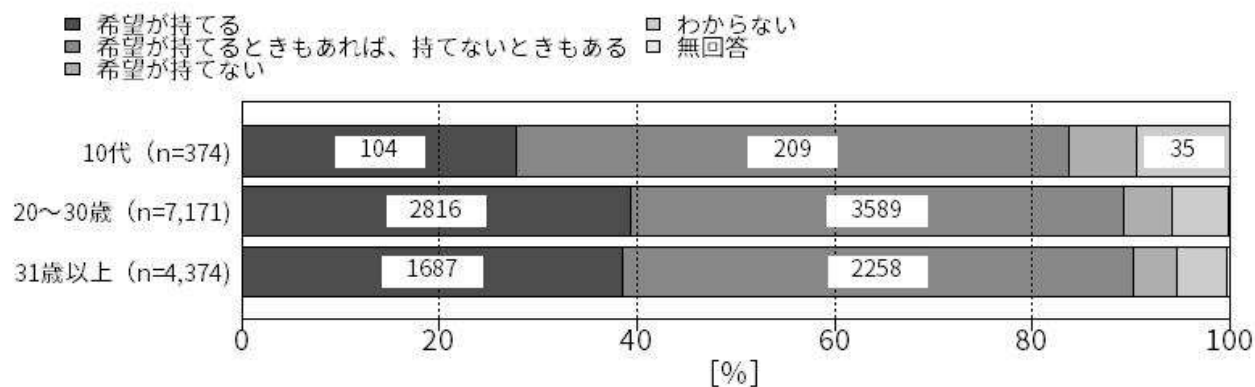


図 106.初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、20～30歳で出産した群、31歳以上で出産した群よりも、「希望が持てる」と回答した割合が低く、27.8%であった。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
（問 33×問 36-3）※母親が回答者の場合に限定

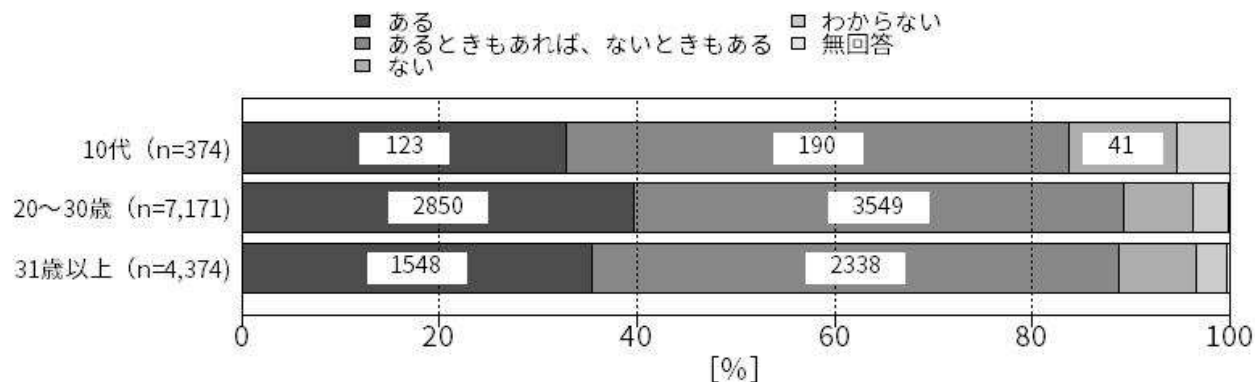


図 107.初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した群において、ストレス発散できるものが「ない」という回答した割合がわずかに低く、32.9%となっている。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 33×問 36-4）
※母親が回答者の場合に限定

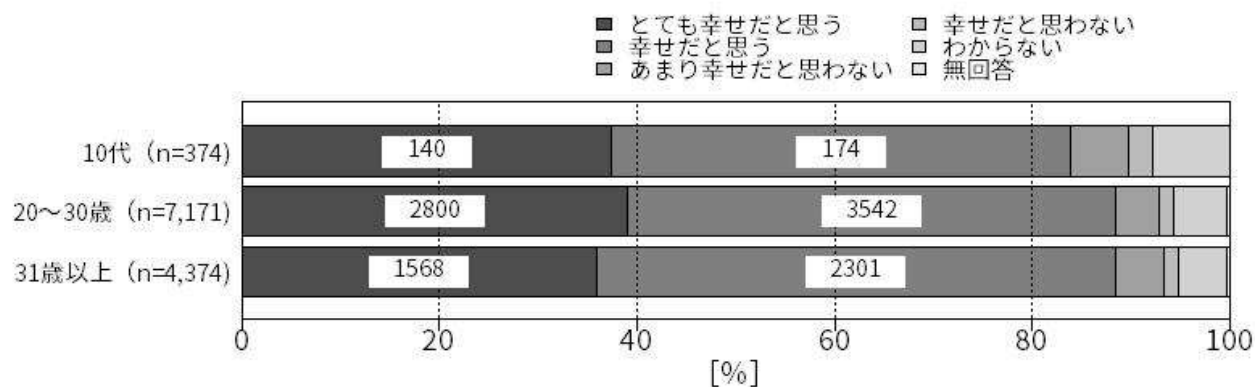


図 108.初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人では、20~30歳で出産した群、31歳以上で出産した群よりも、「幸せだと思う」と回答した割合がやや低く 46.5%であった。また、無回答の割合が高くなっていた。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（問 8）

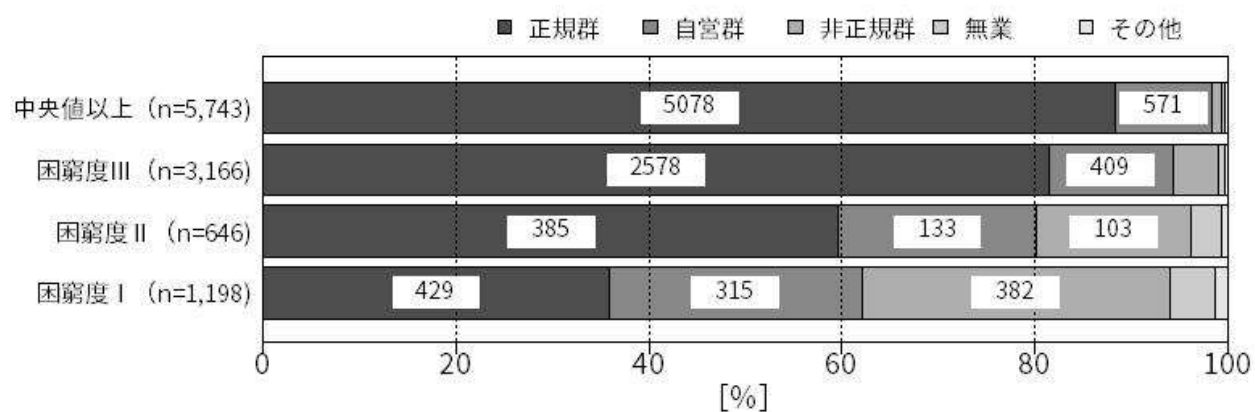


図 109.困窮度別に見た、就労状況

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては、自営群は26.3%、非正規群は31.9%である。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

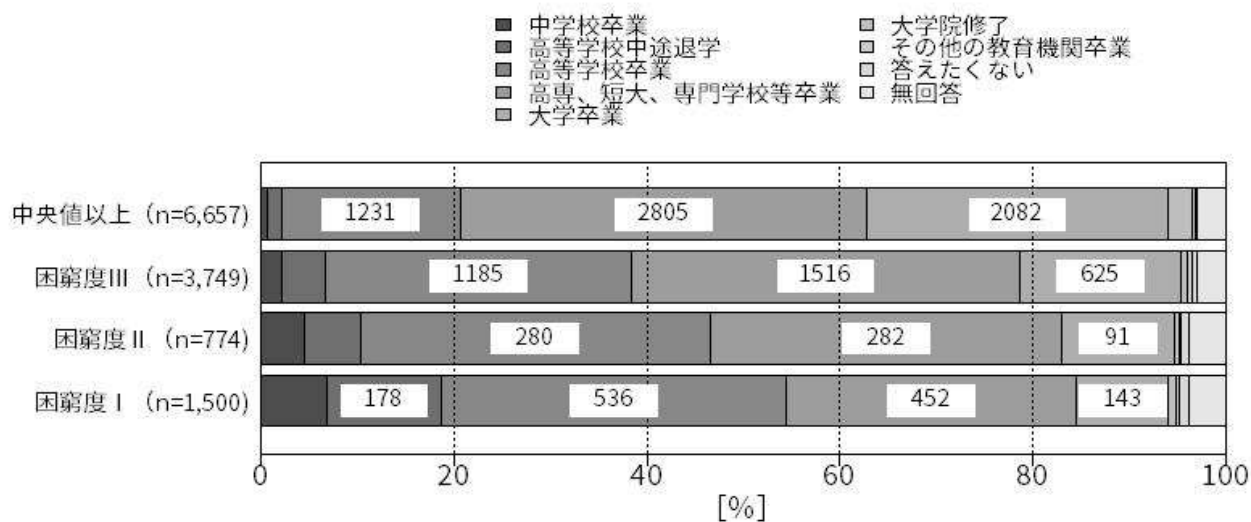


図 110.困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあり、合計すると 18.7% であった。中央値以上群では高専、短大、専門学校等卒業が最も多く、42.1%である。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

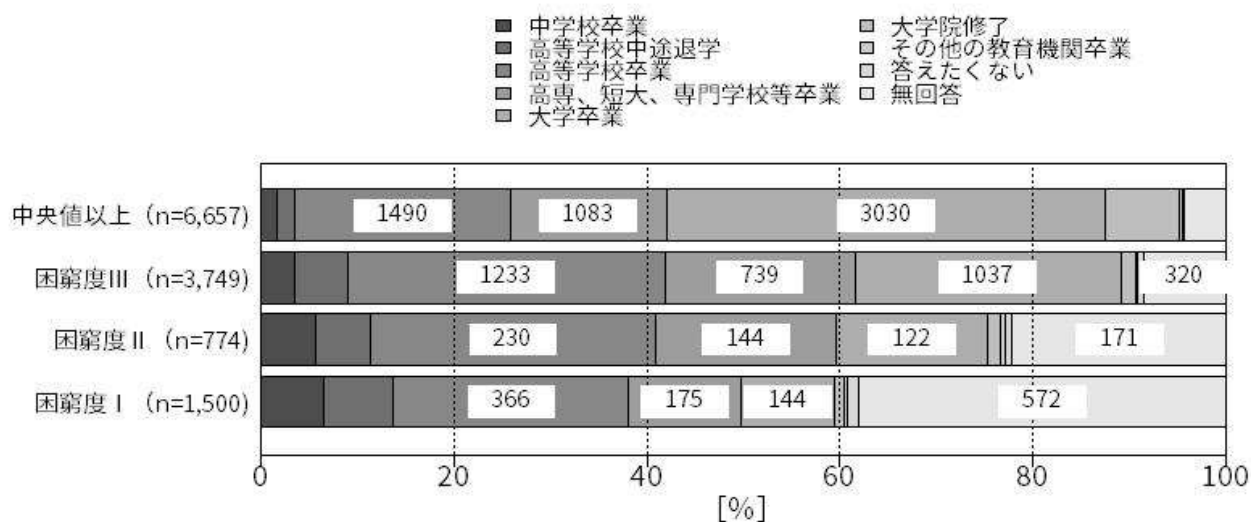


図 111.困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあり、合計すると 13.8% であった。中央値以上群では大学卒業が最も多く、45.5%である。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

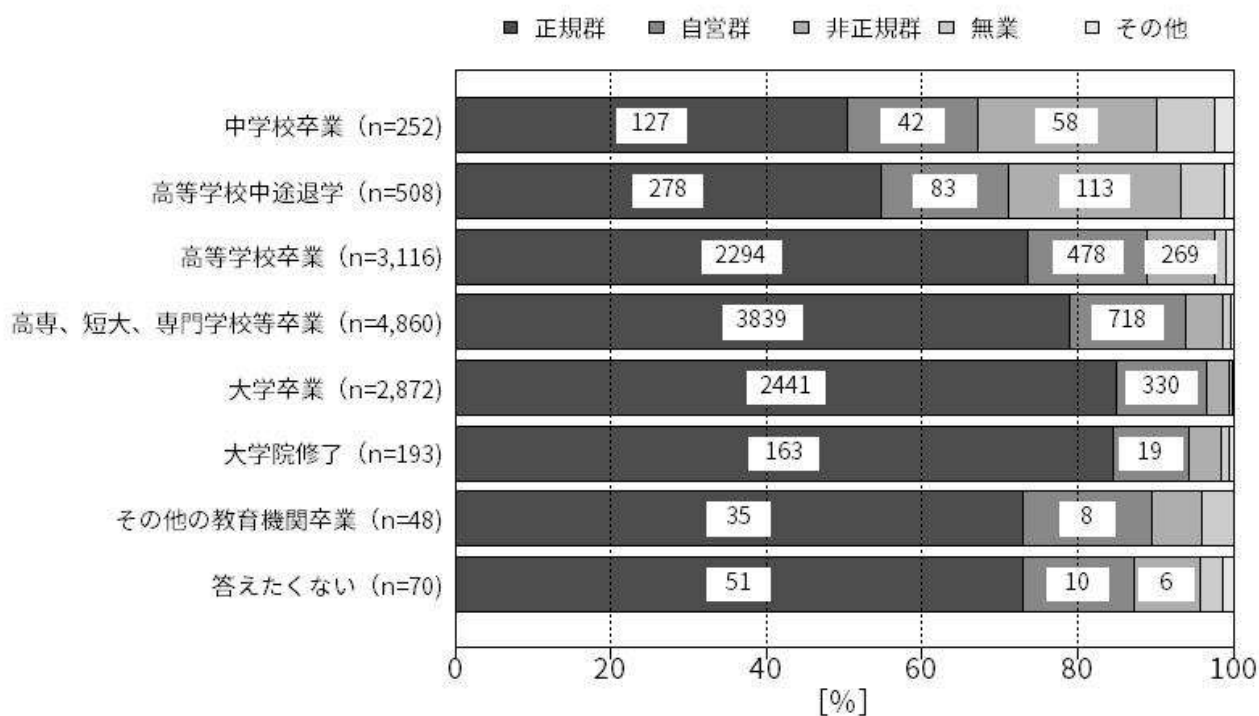


図 112.母親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。中学校卒業と高等学校中途退学では正規群の割合が低く、それぞれ 50.4%、54.7%と、5割程度となっている。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

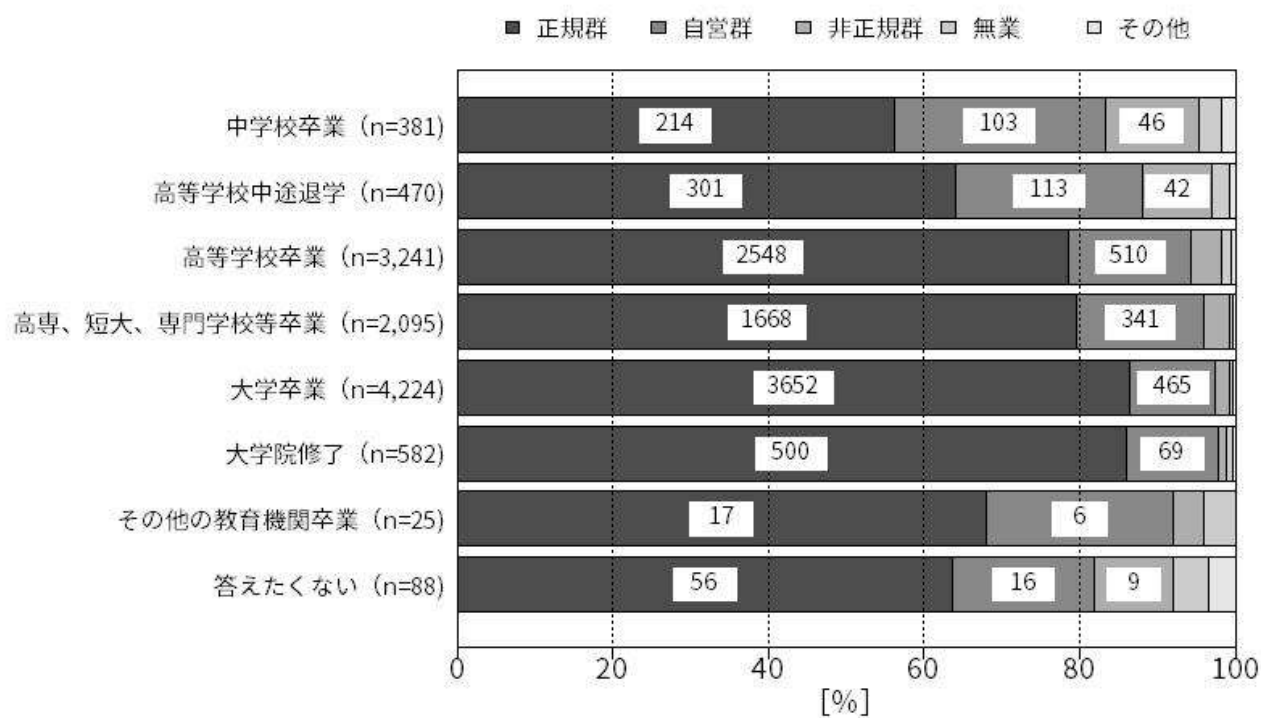


図 113.父親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。中学校卒業と高等学校中途退学では正規群の割合が低く、それぞれ 56.2%、64.0%と、6 割前後となっている。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

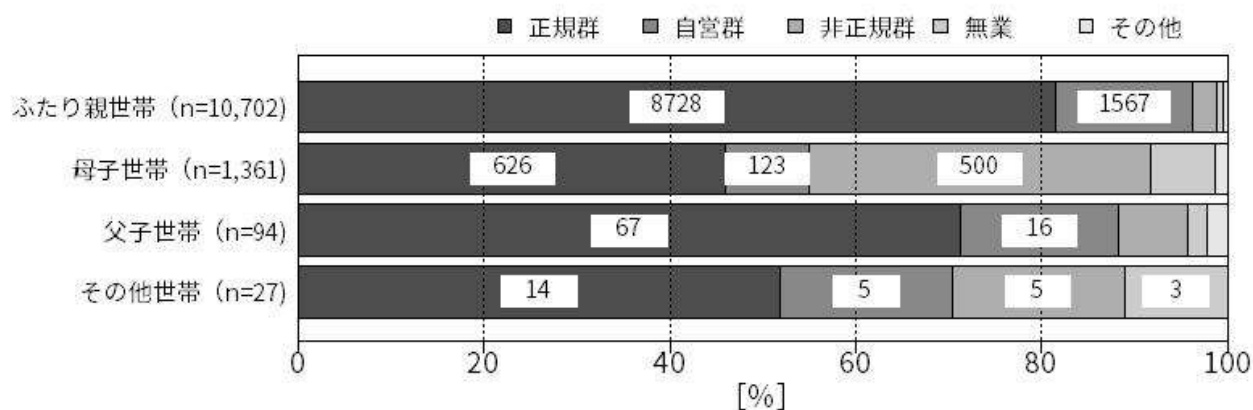


図 114.世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。

母子世帯、父子世帯では、ふたり親世帯より正規群の割合が低く、それぞれ 46.0%、71.3%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問8×問5-3）

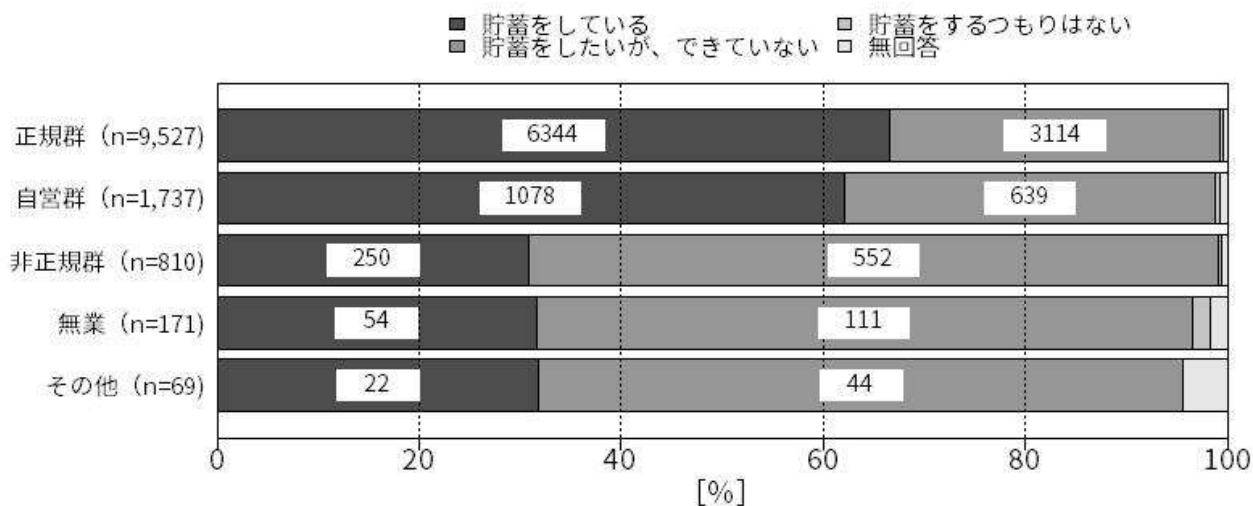


図 115.就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群・無業では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、それぞれ 30.9%、31.6%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

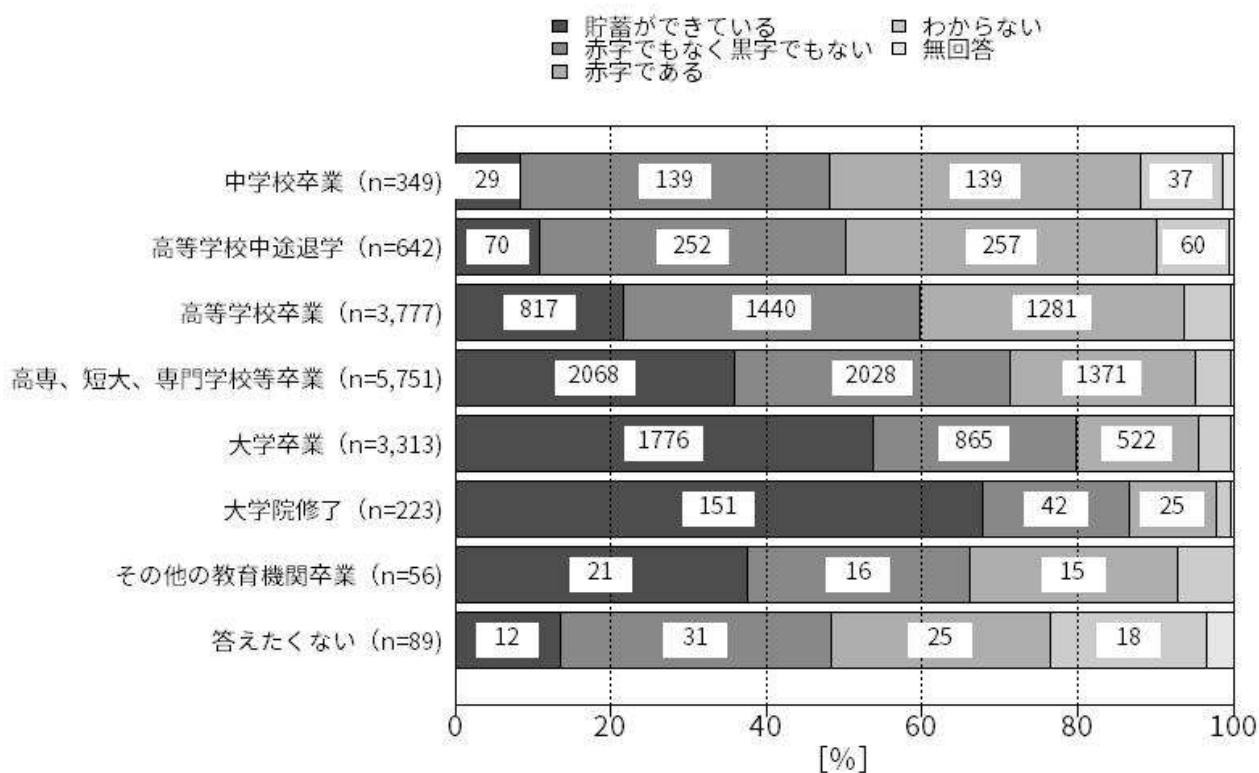


図 116.母親の最終学歴別に見た、家計状況

学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる。中学校卒業、高等学校中途退学では「貯蓄ができていない」と回答した割合は低く、それぞれ 8.3%、10.9%であった。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

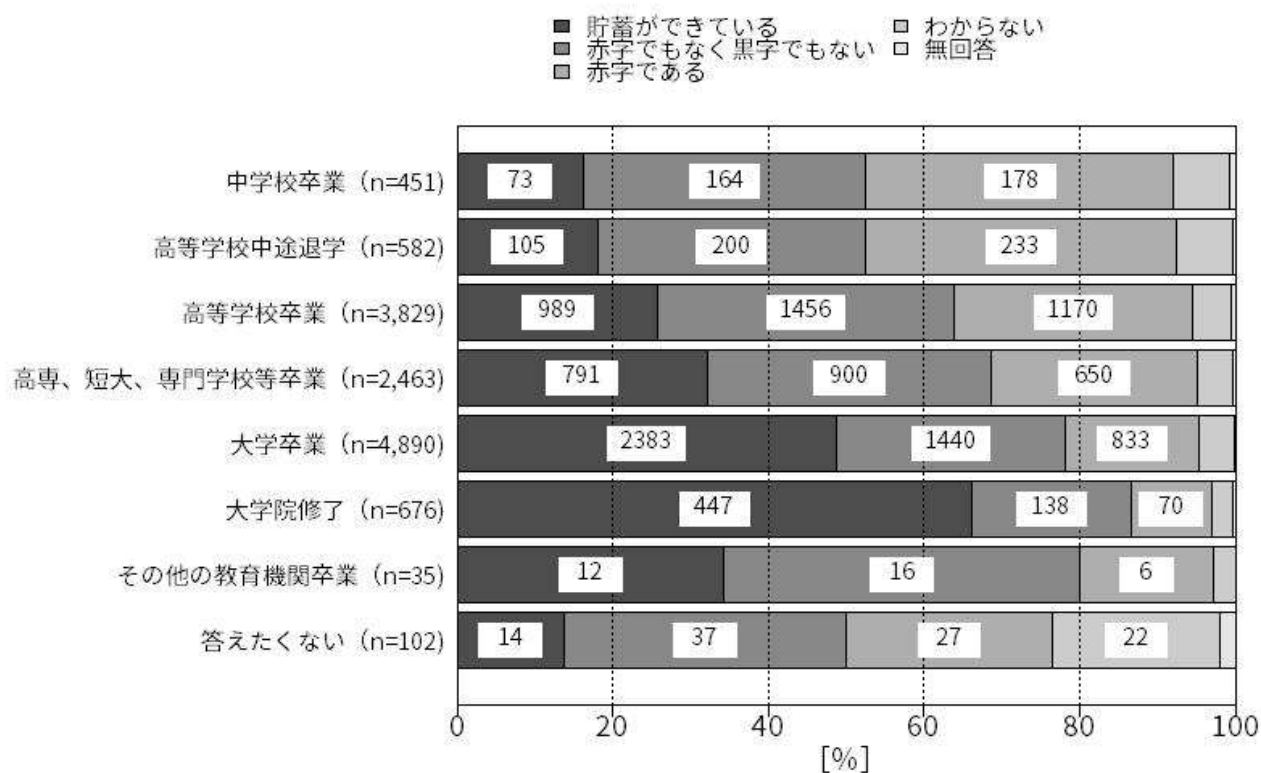


図 117.父親の最終学歴別に見た、家計状況

学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる。中学校卒業、高等学校中途退学では「貯蓄ができていない」と回答した割合は低く、それぞれ 16.2%、18.0%であった。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

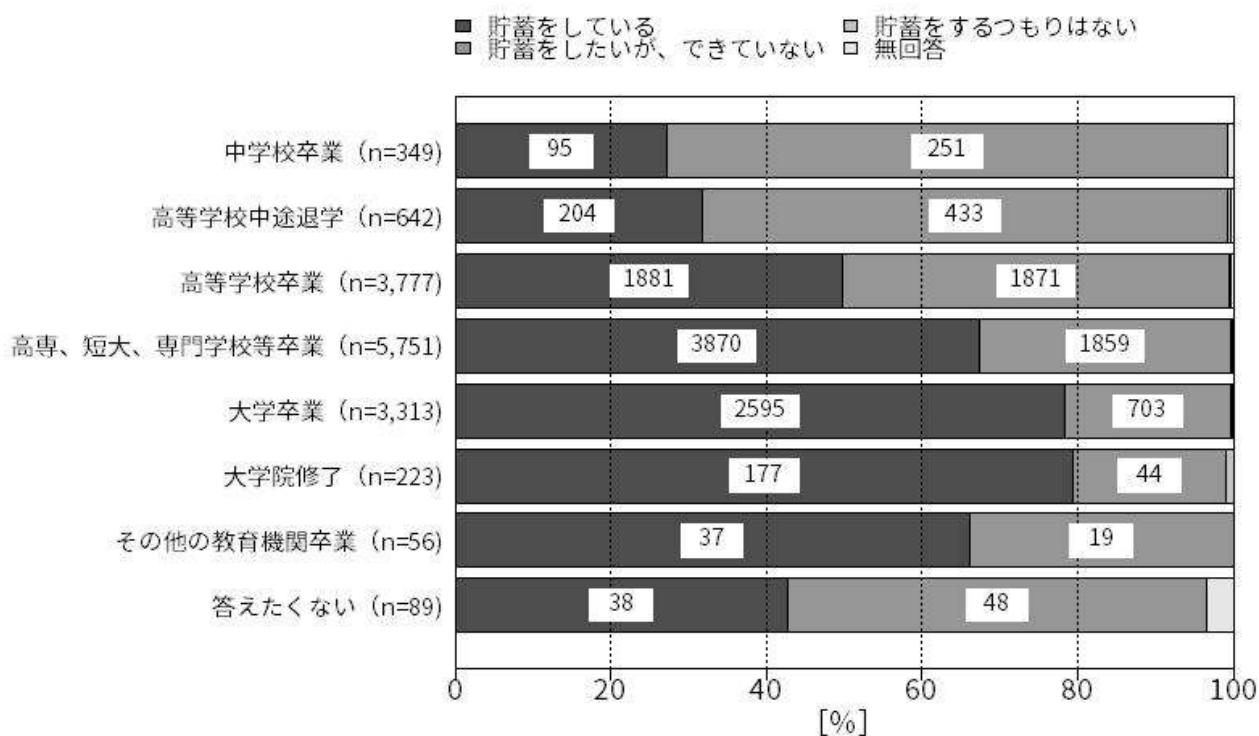


図 118.母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあり、それぞれ 27.2%、31.8%であった。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

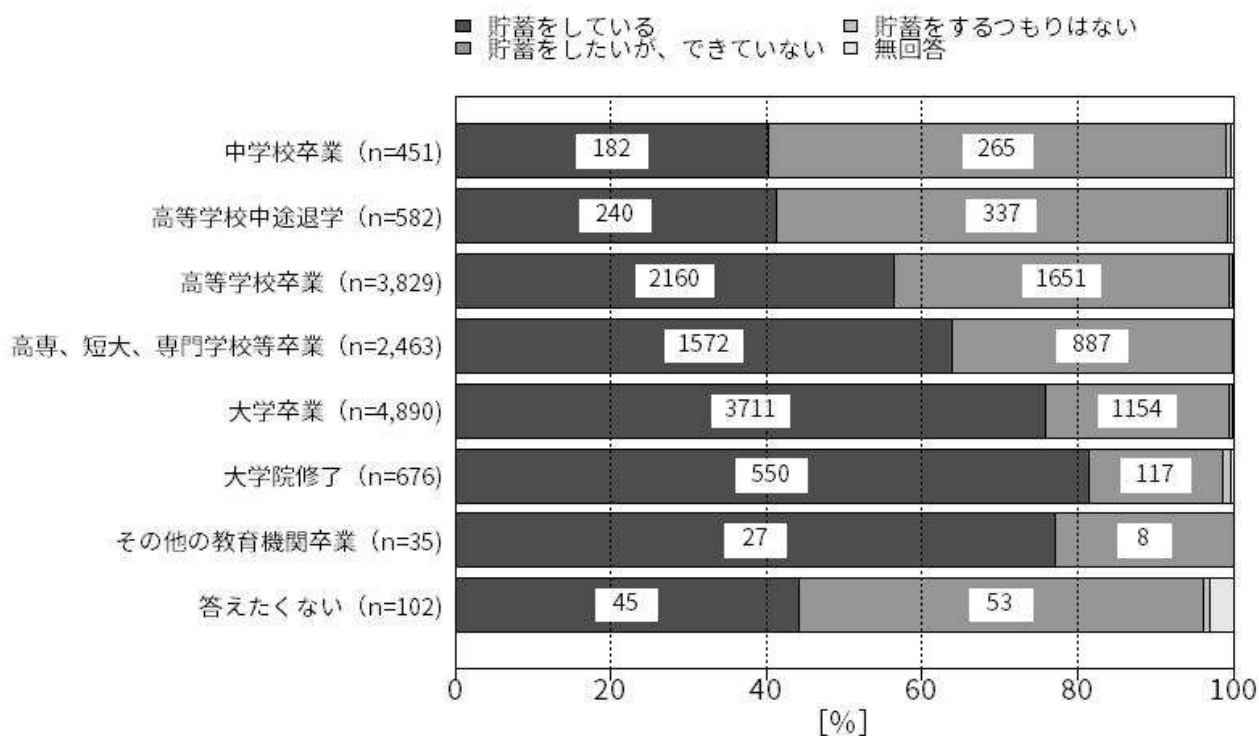


図 119.父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあり、それぞれ 40.4%、41.2%であった。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

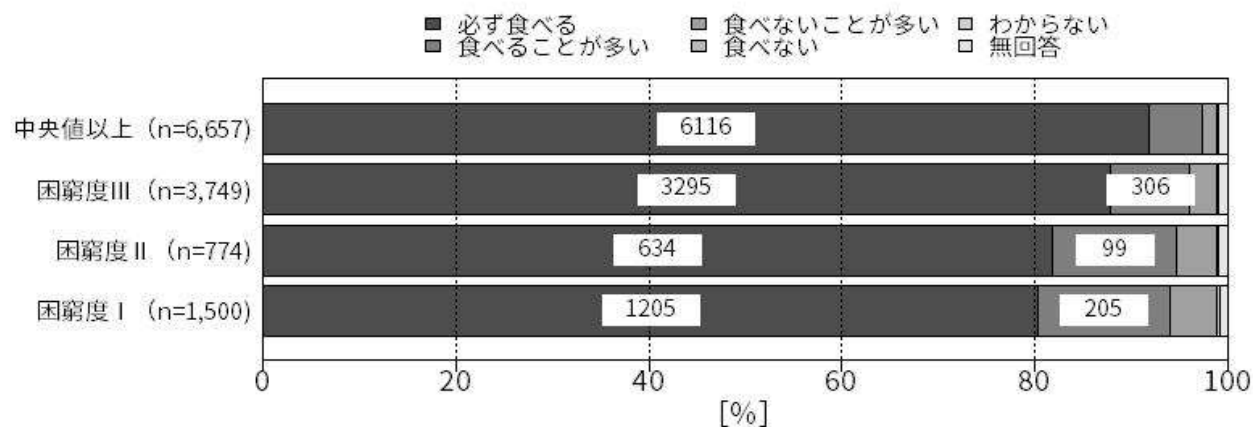


図 120.困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては80.3%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

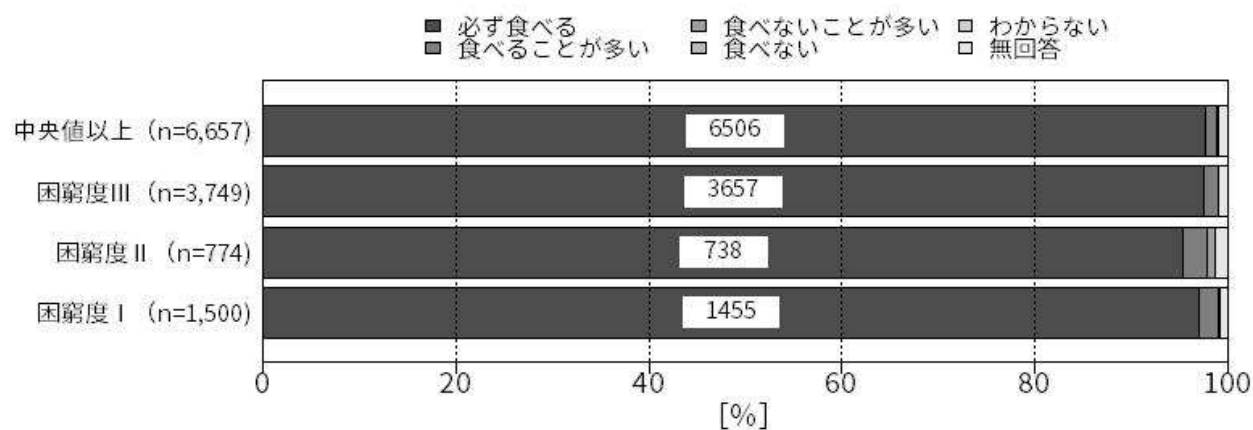


図 121.困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度によって、大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

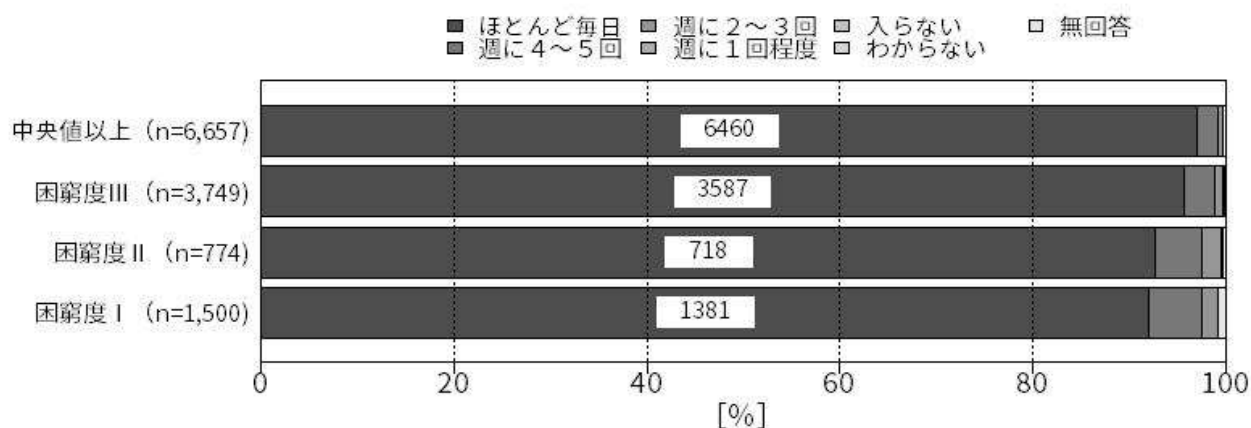


図 122.困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂に入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては92.1%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

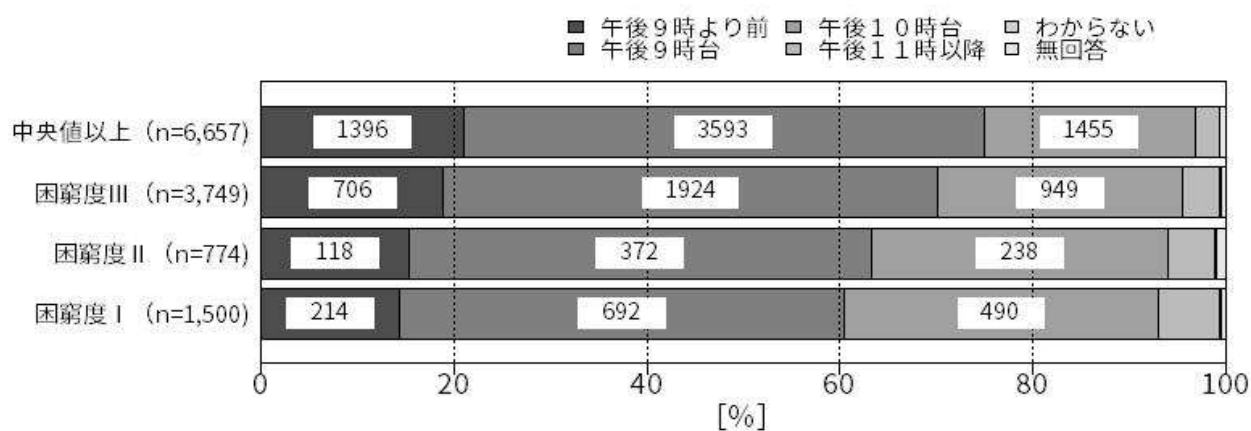


図 123.困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。、困窮度Ⅰ群においては午後10時台と回答した割合がやや高く、32.7%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

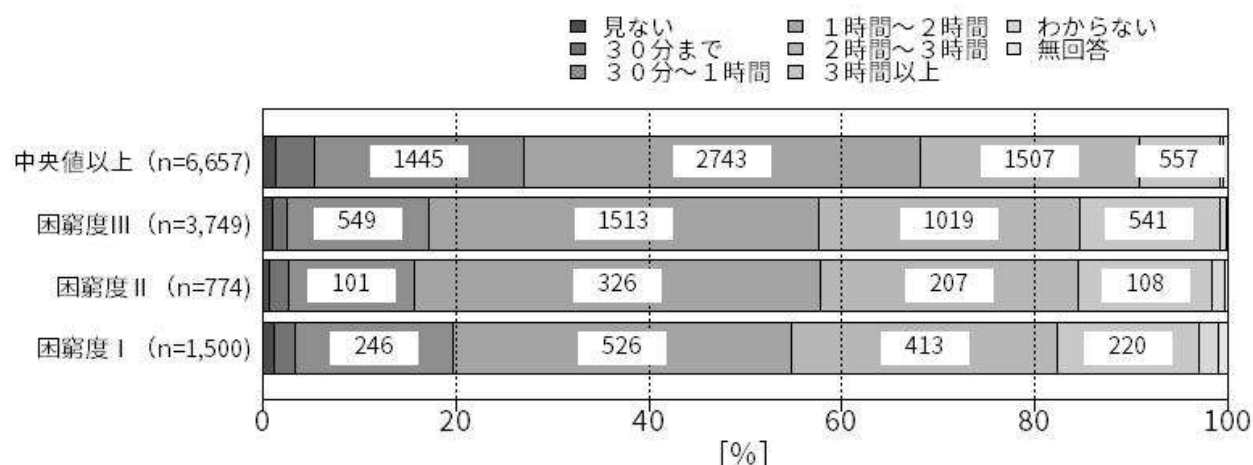


図 124.困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」～「1時間～2時間」の回答を選択した割合が高く、約7割となっている。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

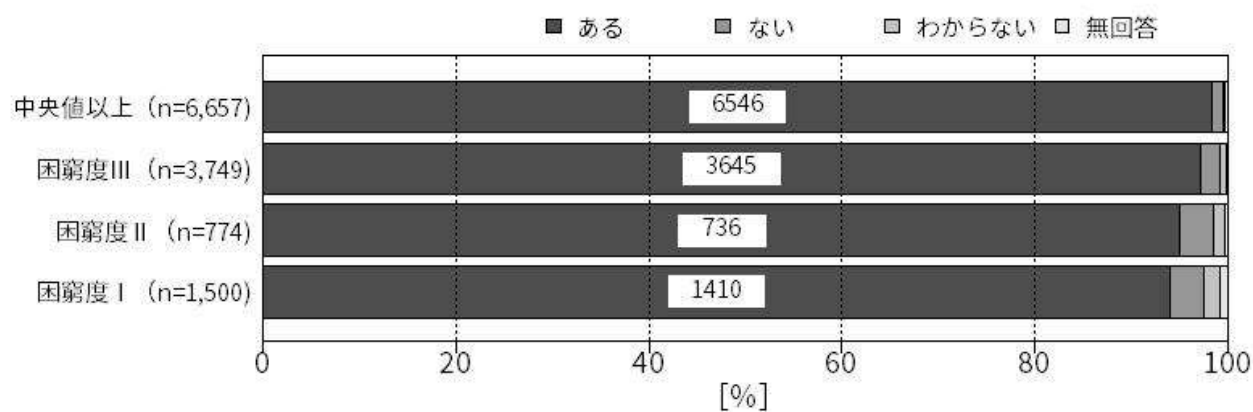


図 125.困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では94.0%であった。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

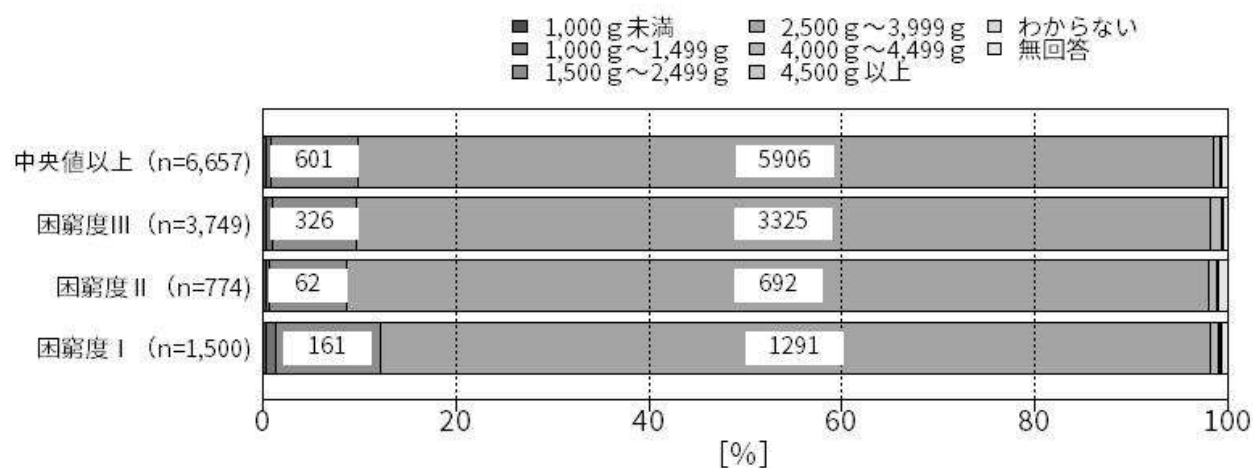


図 126.困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,500 g ～ 2,499 g」と回答した割合がやや高く、10.7%である。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

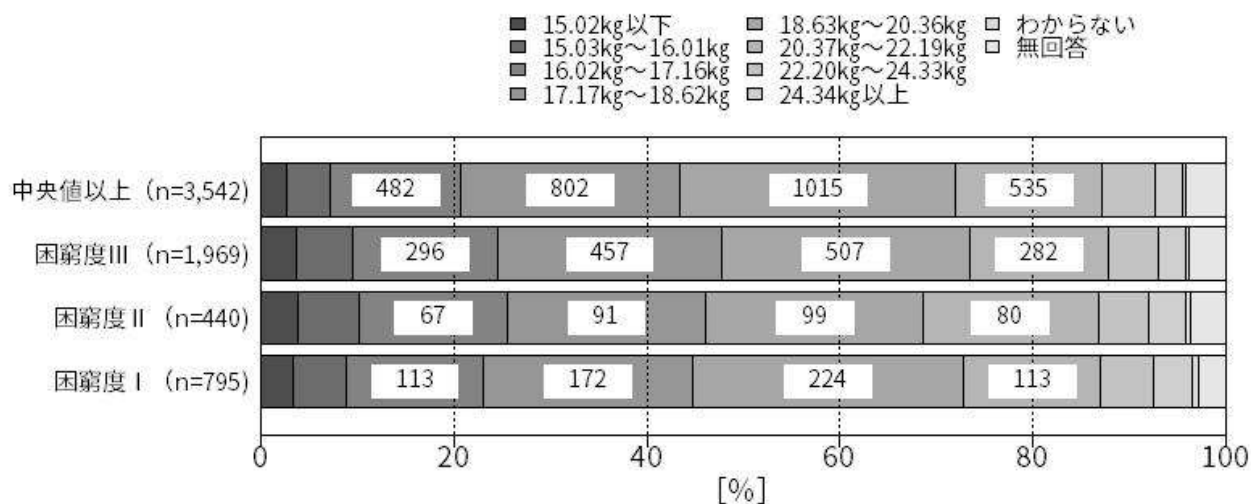


図 127.困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度と現在の体重（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

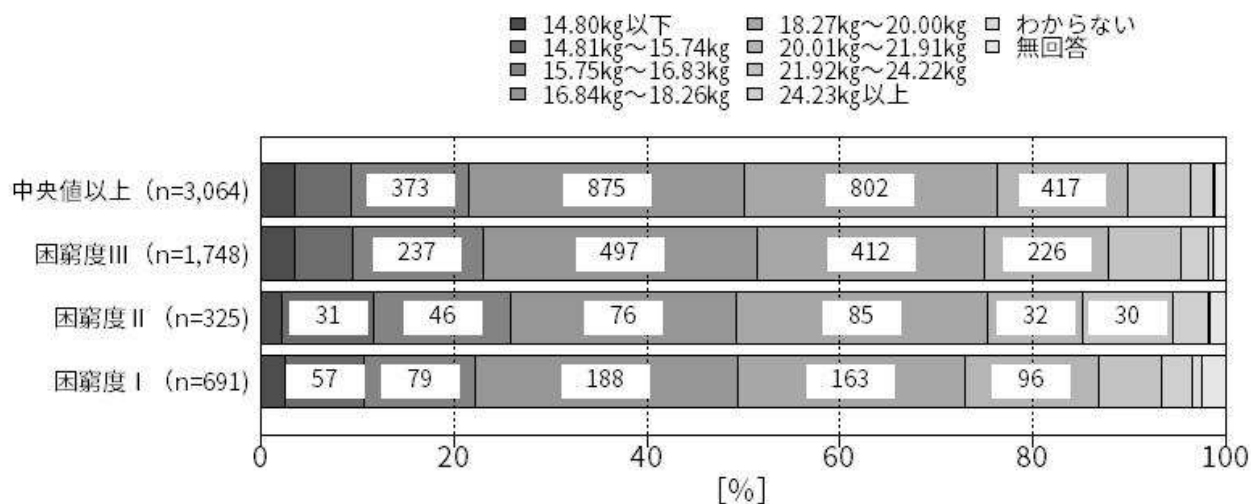


図 128.困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

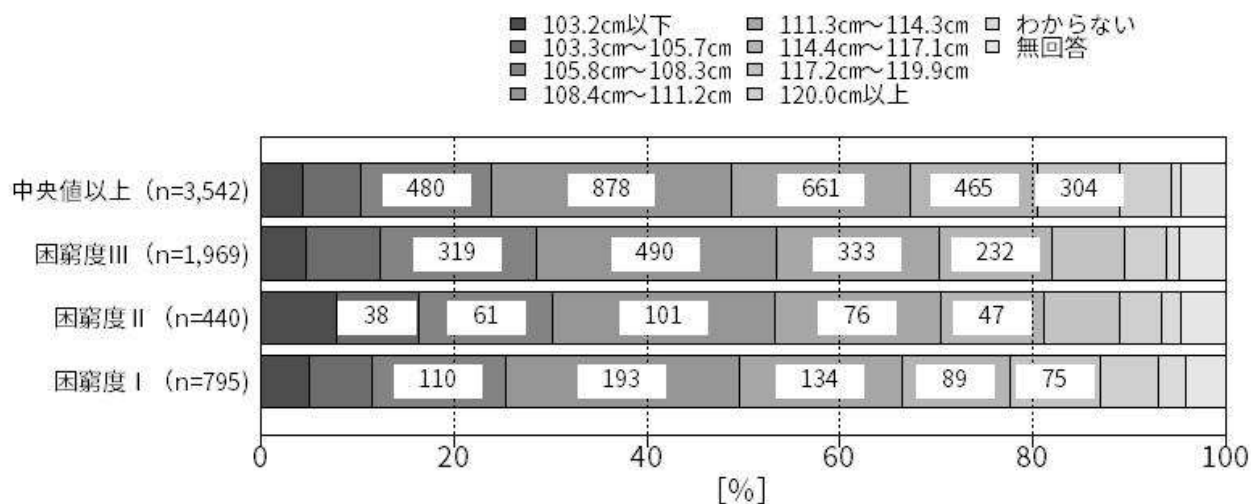


図 129.困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い男子の割合が高くなる傾向にあった。困窮度Ⅱ群において「103.2 cm以下」、「103.3 cm～105.7 cm」をあわせた割合がやや高く、16.3%となっている。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

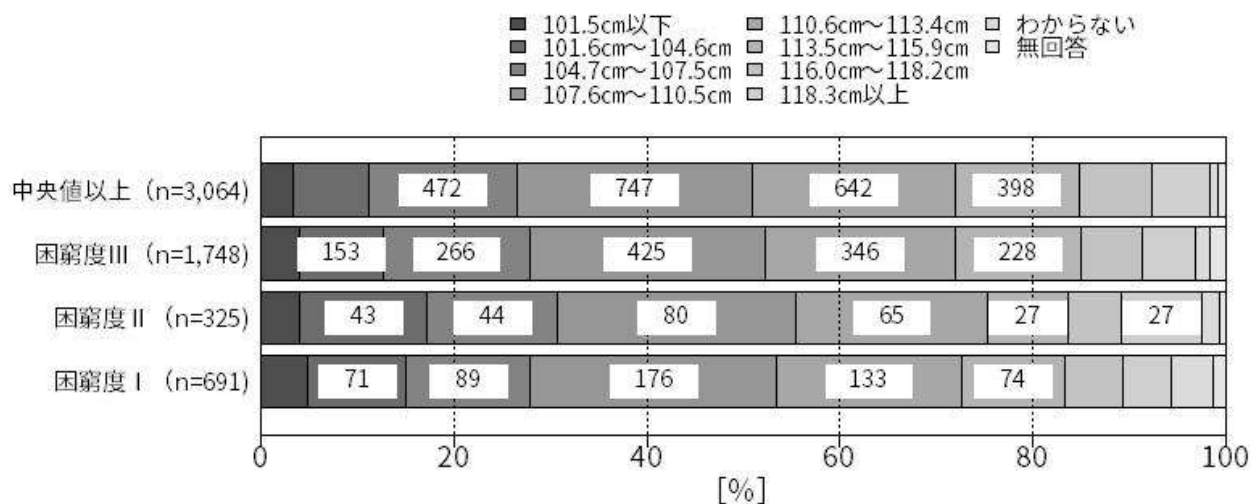


図 130.困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い女子の割合が高くなる傾向にあった。困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅰ群において「103.2 cm以下」、「103.3 cm～105.7 cm」をあわせた割合がやや高く、それぞれ 17.2%、15.1%となっている。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）＜男子＞

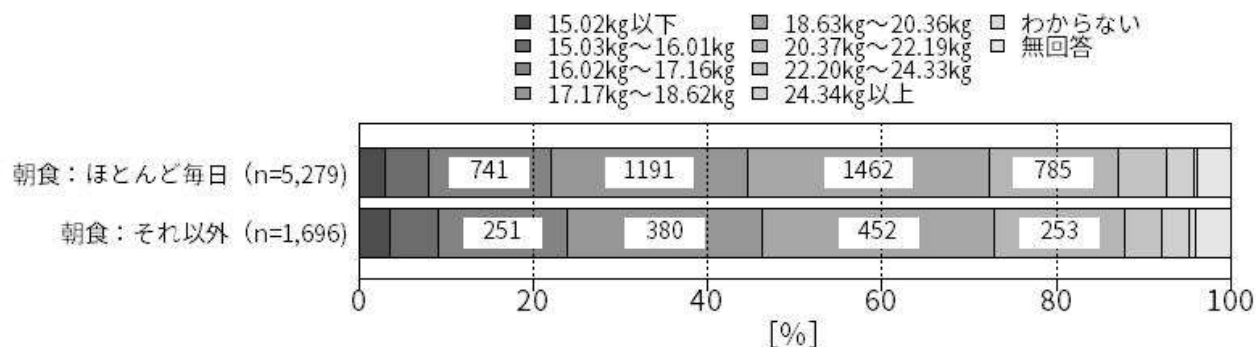


図 131.朝食の頻度別に見た、現在の体重＜男子＞

朝食をほとんど毎日食べない男子は、体重が少ない割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）＜女子＞

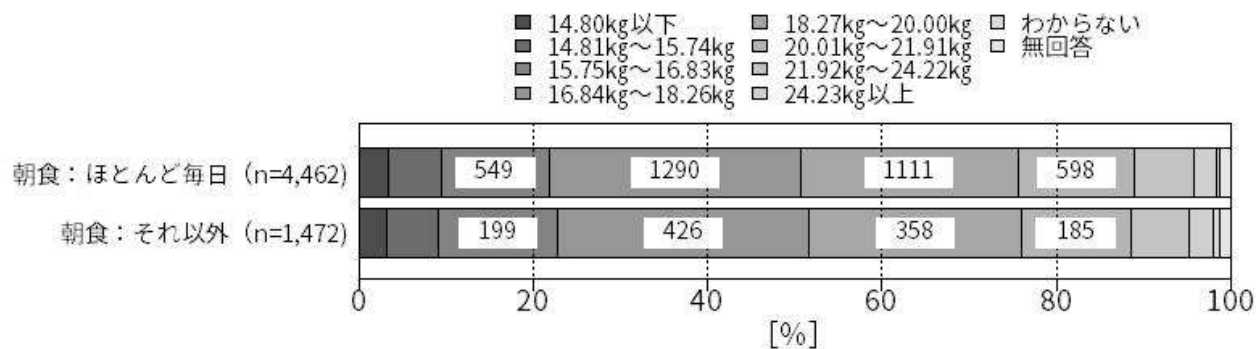


図 132.朝食の頻度別に見た、現在の体重＜女子＞

朝食の頻度と女子の体重に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）＜男子＞

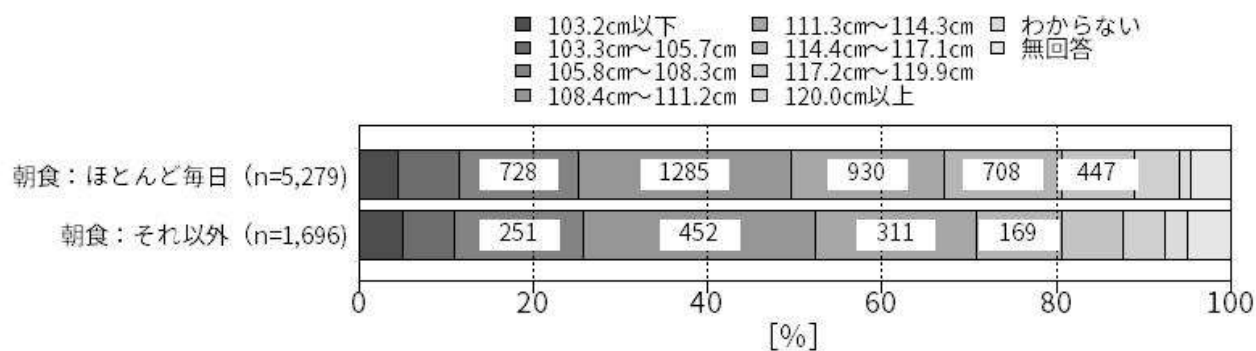


図 133.朝食の頻度別に見た、現在の身長＜男子＞

朝食の頻度と男子の身長に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）＜女子＞

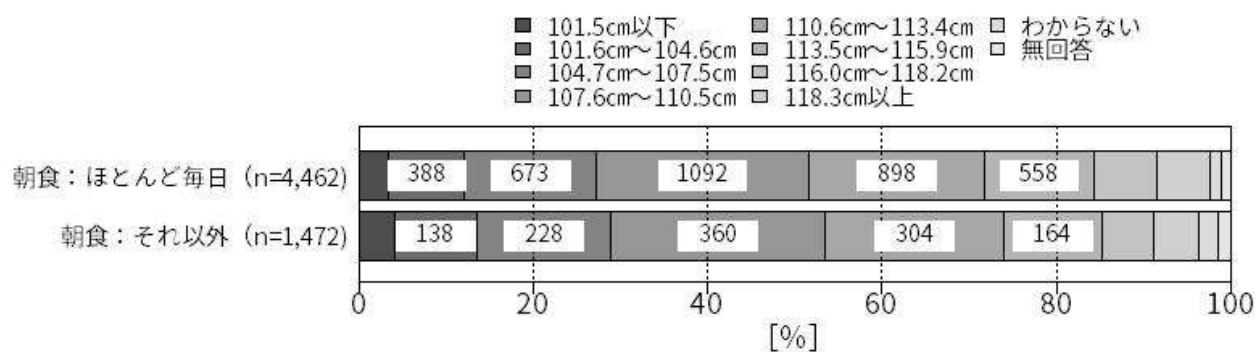


図 134.朝食の頻度別に見た、現在の身長＜女子＞

朝食の頻度と女子の身長に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）＜男子＞

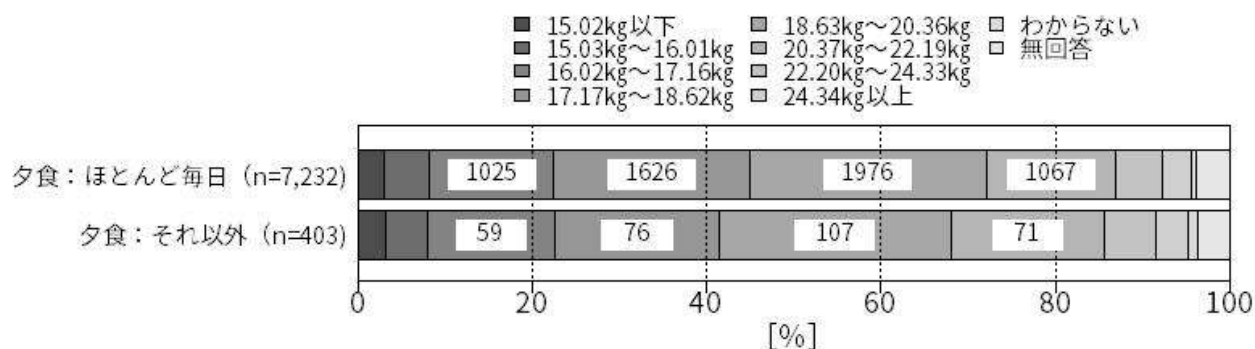


図 135.夕食の頻度別に見た、現在の体重＜男子＞

夕食の頻度と男子の体重に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）＜女子＞

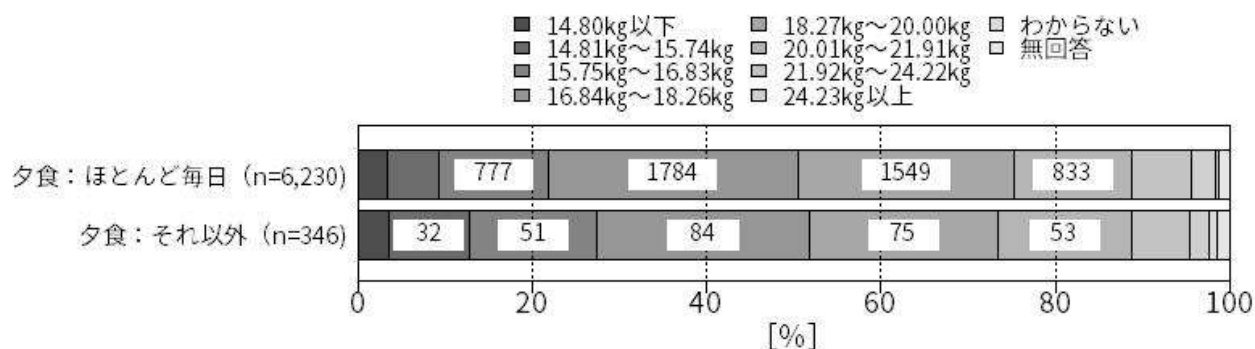


図 136.夕食の頻度別に見た、現在の体重＜女子＞

夕食を「ほとんど毎日」食べない女子は、体重が軽い割合が高くなる傾向にあった。「14.80 kg以下」、「14.81 kg～15.74 kg」、「15.75 kg～16.83 kg」をあわせると、27.4%となった。